

短 報

我が国の高等教育機関における「情報」という語の意味とその変遷

Changing of the Term “Information” in Higher
Educational Institutions in Japan

櫻 木 貴 子
Takako Sakuragi

Résumé

The purpose of this study is to examine the change of the meanings of the term “information” as appeared in names of departments and courses in Japanese universities, mainly in the context of the influence of the policies by the Ministry of Education.

This research analyzed the names of 272 departments and courses which have the term “information”. They were classified into three periods by the years when they were established; the 1st period (1968–1985), the 2nd (1986–1992), the 3rd (1993–1996). These periods correspond with the three different policies of the Ministry of Education.

Terms which appear in the names other than the term “information” were analyzed.

Main results are as follows;

1) Number of departments and courses which have names including the term “information” increased from the 1st period to the 3rd in relation with the policies of the Ministry of Education.

2) At the 1st period the term “information” was almost synonymous with the term “computer”. At the 2nd it was used with terms of various fields which apparently have no specific relationship with it. The meaning of the term “information” became diversified, showing the interdisciplinary nature of information-related departments and courses at the 3rd.

- I. はじめに
- II. 情報関連高等教育行政の特徴
- III. 「情報」を名称に含む学科に関する調査
 - A. 調査項目
 - B. 調査結果
 - 1. 設置学科の増加と文部省の施策との一致

櫻木貴子：愛知淑徳大学大学院文学研究科図書館情報学専攻，愛知県愛知郡長久手町大字長湫字片平9
Takako Sakuragi: Graduate School of Library and Information Science, Aichi Shukutoku University, 9,
Katahira, Nagakute, Nagakute-cho, Aichi-gun, Aichi-ken.

E-mail: 971011x@asu.aasa.ac.jp

受付日：1997年12月12日 改訂稿受付日：1998年1月9日 受理日：1998年1月31日

我が国の高等教育機関における「情報」という語の意味とその変遷

2. 設置母体
3. 研究・教育内容の系列
4. 語の多様化
5. 所属学部が多様化

IV. 高等教育機関における「情報」の意味とその変遷

- A. 第1期（1968年～1985年）
- B. 第2期（1986年～1992年）
- C. 第3期（1993年～1996年）

V. 結 論

I. はじめに

現在「情報」という語は、一般的に様々な用法と意味を持つ語として認識されている。この「情報」を名称に含む学科が我が国の大学において近年多数設置されるようになってきている。学科名称は、その学科における研究や教育の内容を表現しているものであると考えられる。しかし、「情報」を名称に含む学科の全てにおいて、同じ研究や教育が行われているわけではない。この点はいくつかの既往研究において取り上げられている¹⁾²⁾³⁾⁴⁾。その中でも慶應義塾大学文学部図書館・情報学科による共同研究¹⁾は、「情報」という語を名称に含む学科の開講科目内容や科目担当教員等を詳細に分析し、我が国の高等教育機関における「情報」の捉え方を明らかにしている。また文部省の「情報」の捉え方が学科名称に深く関わっているという指摘も行っている。

本研究は、この文部省の「情報」の捉え方に着目し、学科の設置と文部省による施策との関わりを軸として、我が国の高等教育機関における「情報」の意味とその変遷について検討することを目的とする。

II. 情報関連高等教育行政の特徴

文部省が教育の名称に「情報」を使用した例として「情報処理教育」がある。これは1970年に理科教育・産業教育審議会から出された「高等学校における情報処理教育の推進について」という報告の中においても用いられた。この報告は、通商産業省による「情報処理の促進に関する法律」

（旧名称情報処理振興事業協会等に関する法律）に対応したものであり、この報告における「情報処理教育」は、増大する情報を効率よく処理することが可能な「電子計算機（コンピュータ）」の利用に重点を置くものであった⁵⁾。これは、通商産業省による「情報」と「コンピュータ」が同義であるという捉え方をそのまま受け継いだものとみなすことができる。このような情報＝コンピュータとする考え方に基づいた文部省の情報処理教育推進方策は、1970年以降の「情報」を名称に含む学科の設置に大きな影響を及ぼしたと考えてよいだろう。

文部省は、大学の学部、学科および専攻等の新設・増設を行う場合に、その教員や教育内容等の審査を通じて大きな影響力を持つ。「情報」に関連した教育についても同様で、文部省の「情報」の捉え方が、大学が「情報」関連学部・学科・専攻等を新設・増設する際に、大きな影響を及ぼしてきたと考えることができよう。では、特に情報に関連して、文部省の高等教育行政はどのようなものであったのだろうか。ここでは、特に重要なものとして、次の3点を指摘したい。

(1) 入学定員増

文部省による大学設置に関する近年の施策は、高等教育機関の量的整備に始まる。まず1984年に、18歳人口のピークである1992年度における大学等（大学、短期大学、高等専門学校を含む）の進学率を約35%に確保するため、8万6千人の入学定員増が計画された⁶⁾。この増員分の受け皿を用意するために、大学は新たな名称のもとに学部や学科を新設・増設するよう促された。

(2) 情報関係学部・学科の拡充の推進

社会の変化に対応した高等教育の個性化、多様化、高度化を目標のひとつとする教育改革を行うため、臨時教育審議会が設置され審議が行われた。審議内容をまとめた答申の中でも、特に1987年に発表された第四次（最終）答申においては、第五節第3項②「高等教育や学術研究への情報手段の活用と人材の育成」で“情報化社会をリードし、構築していく人材を育成”⁷⁾するために“大学の情報関係学部・学科の拡充”⁷⁾を推進するという方針が打ち出された。

(3) 情報関連学部・学科の設置抑制対象からの除外

大学進学者人口が減少する1993年度以降においては、高等教育整備の方針は量的拡大よりも質的充実に重点が置かれ、高等教育機関の新設および収容定員増の原則抑制が計画された⁶⁾。しかし抑制の対象から除外されるものとして“学術研究・社会経済上又は地域振興上、極めて必要性の高い大学等”⁶⁾の中に“情報、社会福祉、医療技術、先端科学技術など特別の人材養成に係るもので、特に必要と認められるもの”⁶⁾の新設・増設が認められた。

以上のように、教育行政の流れは主に答申や報告を通じて捉えることができる。本研究では、答申や報告を基に文部省の情報に関連した施策の動向を整理し、その動向と「情報」を名称に含む学科の設置動向とを比較することによって、高等教育において「情報」の意味がどのように変わってきたのかを見ることにする。

III. 「情報」を名称に含む学科に関する調査

A. 調査項目

調査対象は『全国大学一覧平成8年度版』⁸⁾から抽出した学科およびそれに相当する類や課程の名称に「情報」を名称に含む全学科とした。なお、学科名に「情報」を含まない場合でも、その学科を構成する専攻名に「情報」が含まれている場合には、当該学科も調査対象とした（例：栄養学科環境情報専攻）。

調査項目は次の5つである。

①設置年度……1968年から1996年までの29年間

1968年は、「情報」を名称に含む学科が我が国で初めて設置された年である。この年から1996年までの29年間でII章で挙げた文部省による答申・報告を基に、第1期（1968～1985年）、第2期（1986～1992年）、第3期（1993～1996年）の3期に分けることにする。第1期は「情報処理教育」の推進が学科に影響を及ぼす範囲、第2期は大学入学者臨時定員増とその実施期間中に発表された「情報関係学科」拡充計画を含む答申による影響、第3期は「情報」を扱う学科が設置抑制対象外とされた報告の学科に対する影響をそれぞれ調査するために設定した。

②設置母体……国立、公立、私立の3種類

③設置形態……新設、増設、改称の3種類

④所属学部……「情報」を名称に含む学科が所属する学部

⑤研究・教育内容の系列

この項目は「情報」を扱う学科がどの学問分野に属するのかわかるために設定した。ここでは慶應義塾大学文学部図書館・情報学科の研究¹⁾で提示された3つの分類、岸田和明の研究²⁾で提示された2つの分類、そして『全国大学受験案内1997年度用』⁹⁾の「入試難易ランキング表」を参

表1 研究・教育内容の系列

系列	番号	分類名称
文系	①	経済・経営系
	②	人文・社会学系
	③	図書館情報系
	④	文系教育系
	⑤	文系その他
理系	⑥	医学系
	⑦	情報科学系
	⑧	情報工学系
	⑨	数値情報系
	⑩	知能情報系
	⑪	通信系
	⑫	理系教育系
	⑬	理系その他

我が国の高等教育機関における「情報」という語の意味とその変遷

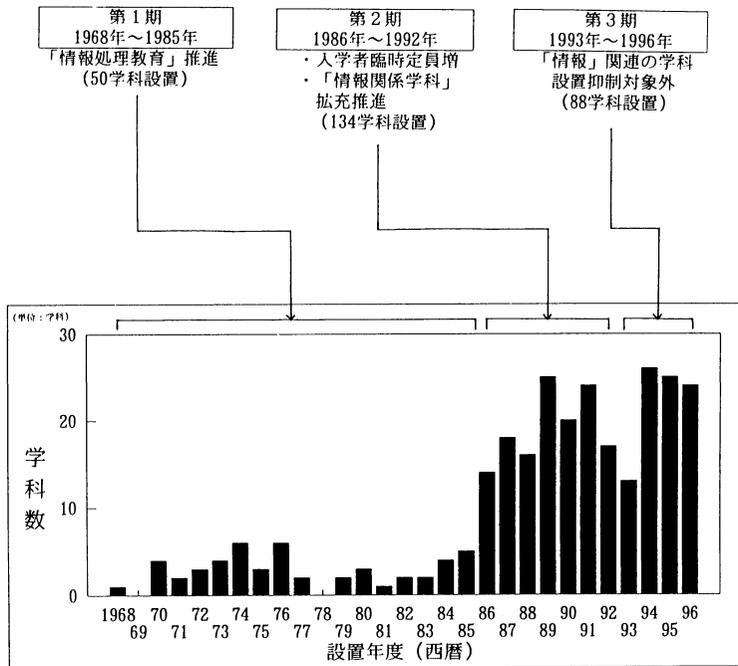


図1 「情報」を名称に含む学科設置数の経年変化

考にし、再分類して13の系列を作成した(表1参照)。

⑥学科名称中の語……名称に用いられている「情報」および「学科(類, 課程)」以外の語この項目はどのような学問分野を表す語が「情報」と結びついているかを調べるために設定した。

B. 調査結果

1. 設置学科の増加と文部省の施策との一致

「情報」を名称に含む学科の設置数の経年変化を、前述の3期間で区分したものが図1である。なお、ここで示した設置学科数は、その年度に新設、増設または改称によって設置された学科であり、1968年からの累積学科数ではない。

「情報」を名称に含む学科は1968年から1996年の29年間に合計272学科が設置された。各期での内訳は、第1期に50学科、第2期に134学科、第3期に88学科となっている。

第1期においては、「高等学校における情報処理教育の推進について(報告)」が1970年に発表

され、この頃から「情報処理教育」の推進が始まり、これを受けて情報を名称に含む学科が設置され始めた。第2期においては、1984年に発表された「昭和61年度以降の高等教育の計画的整備について(報告)」で計画された大学入学者臨時定員増が1986年に始まった。さらに、臨時教育審議会によって発表された、「教育改革に関する第二次答申」(1986年)および「教育改革に関する第四次答申」(1987年)において計画された「情報関係学科」の拡充推進の影響は1986年から起きている。この2つの動きを受けて「情報」を名称に含む学科の設置数は急激に増加を示すことになった。第3期においては、「平成5年度以降の大学設置に関する審査の取扱方針」が1991年に発表され、大学等の設置および収容定員増の抑制が始まり、この影響から1993年度には「情報」を名称に含む学科の設置数の増加量も若干減少した。しかし、同方針において「情報」関連学科が設置抑制対象から除外されていたことから、94年度以降は全期間中で最大の設置数を示している。さらに、調査対象期間29年間のうちの第2

表2 「情報」を名称に含む学科の設置年度、設置母体、設置形態、研究・教育内容の系列による分類

文系		第1期					第2期					第3期					合計	(凡例)		
母体	形態	①	②	③	④	⑤	①	②	③	④	⑤	①	②	③	④	⑤		系列	番号	分類名称
国立	改称																0	①	①	経済・経営系
	新設			1										2			3	②	②	人文・社会学系
	増設						3	1		4		2	3		1		14	③	③	図書館情報系
公立	改称																0	④	④	文系教育系
	新設						2										2	⑤	⑤	文系その他
	増設											1					1	⑥	⑥	医学系
私立	改称			1													1	⑦	⑦	情報科学系
	新設	3				1	12	4		1	3	13	5			4	46	⑧	⑧	情報工学系
	増設	4		1			8				1	5	2				21	⑨	⑨	数理情報系
合計		7	0	3	0	1	25	5	0	5	4	21	12	0	1	4	88	⑩	⑩	知能情報系
																		⑪	⑪	通信系
																		⑫	⑫	理系教育系
																		⑬	⑬	理系その他

理系		第1期													第2期													第3期													合計
母体	形態	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬																
国立	改称			1																							2														
	新設			2										1						1		1	1			1	7														
	増設		2	23	2					6	25		8		5	2		1	6	3				1	4		88														
公立	改称																										0														
	新設												1							3	1	1	1			7															
	増設												2							2						4															
私立	改称			1									1									1	1			4															
	新設			1						2	6	9		1	1		3	2		4	1				1	31															
	増設		2	3	2	1				2	13	1	1	1						8		1			1	36															
合計		0	4	31	4	1	0	0	0	2	14	52	1	11	2	5	5	2	2	23	7	4	2	0	7	179															

期と第3期を合計した11年間で、222学科（総学科数の約82%）が設置されており、設置学科数が第2期以降急増したことがわかった。

2. 設置母体

表2は、「情報」を名称に含む学科を、設置年度、設置母体、設置形態および研究・教育内容の系列によって分類したものである。なお、研究・教育内容の系列において文系と理系のいずれにも分類できなかった5学科は、本表の対象から除いた。

「国立」大学を母体とする学科は、第1期に31学科（第1期設置学科総数の約60%）、第2期に56学科、第3期に27学科設置されていた。また「私立」大学を母体とする学科は、第1期に20学科、第2期に70学科（第2期設置学科総数の約53%）、第3期に49学科（第3期設置学科総数の約58%）設置されていた。このように、「情報」を名称に含む学科の増加は、第1期では「国立」大学、第2期および第3期では「私立」大学を中心に起こっていたことが明らかになった。

我が国の高等教育機関における「情報」という語の意味とその変遷

表3 「情報」を名称に含む学科の名称中の語の分布

番号	語	第1期	第2期	第3期	合計	番号	語	第1期	第2期	第3期	合計
1	工 学	33	62	22	117	24	生 活		1	1	2
2	経 営	5	17	12	34	25	人 間			2	2
3	電 子	5	19	6	30	26	医 用		1		1
4	システム	1	15	11	27	27	医 療		1		1
5	科 学	3	17	6	26	28	栄 養		1		1
6	社 会		11	8	19	29	衛 生			1	1
7	知 能		8	2	10	30	エネルギー			1	1
8	数 理	3	1	5	9	31	応 用	1			1
9	文 化		3	6	9	32	管 理	1			1
10	環 境		4	3	7	33	基 礎		1		1
11	通 信	1	2	4	7	34	消 費			1	1
12	電 気	2	2	2	6	35	数 学			1	1
13	経 済		2	3	5	36	制 御	1			1
14	産 業		1	4	5	37	生 産			1	1
15	知 識		3	1	4	38	生 体			1	1
16	デザイン		2	2	4	39	総 合			1	1
17	機 械		2	1	3	40	都 市			1	1
18	教 育		3		3	41	物 理			1	1
19	自 然			3	3	42	放 射 線			1	1
20	処 理	1	1	1	3	43	輸 送		1		1
21	図 書 館	3			3	44	理 学	1			1
22	会 計		1	1	2	45	流 通		1		1
23	視 覚		1	1	2		合 計	61	184	117	362

3. 研究・教育内容の系列

設置母体と研究・教育内容の系列の関係では、「国立」大学に「理系」学科が、「私立」大学に「文系」学科が重点的に設置されていた。「理系」学科179学科のうち「国立」大学は97学科（約54%）、「文系」学科88学科のうち「私立」大学は68学科（約77%）であった。

設置形態と研究・教育内容の系列に目を移すと、「文系」学科の「新設」（51学科）、「理系」学科の「増設」（128学科）が多いことがわかった。

設置年度と研究・教育内容の系列では、各期間で設置された学科は、第1期では「情報工学系」学科に集中していたが、第2期、第3期となるに従って分散していた。

設置形態は「国立」大学が「増設」、「公立」大学と「私立」大学が「新設」であることが多く、また「公立」大学は、設置形態では「私立」大学と、また研究・教育内容の系列では「国立」大学と類似の分布を示していた。

これらの結果をまとめると、第1期から第2期にかけて「国立」大学に「増設」された「理系」の「情報工学系」学科（48学科）と、第2期から第3期にかけて「私立」大学に「新設」または「増設」された「経済・経営系」学科（38学科）が設置学科の多くを占めており、設置母体が研究・教育内容の系列を特定する傾向にあることがわかった。

4. 語の多様化

表3は「情報」を名称に含む学科名称中の「情報」と「学科」以外の語の出現回数を表したものである。なお、一つの学科名称に「情報」以外の語が複数含まれる場合があるため、合計は学科数と一致しない。例えば、「社会システム情報学科」や「知能情報システム工学科」の場合、前者は「社会」と「システム」を、後者は「知能」と「システム」および「工学」を1つずつ数えた。

最も多く使用された語は「工学」で、全語の出現回数362回のうち117回(約32%)を占めていた。使用された語の種類は、第1期14種類、第2期28種類、第3期33種類であり、後半になるにしたがって多様化が見られた。

出現回数の合計が5回以上の語(14種類)は、「理系」分野を示す傾向の強い「工学」「電子」「科学」「知能」「数理」「電気」が多かった。また、単独では特定の分野を示さない語として「システム」「基礎」「総合」などの語も含まれていた。

5. 所属学部が多様化

表4は「情報」を名称に含む学科がどの学部設置されているかを学科毎に分類し、学科数の多いものから順に並べたものである。なお、各設置学部の後ろについている丸付数字は、その学部にもっと早く設置された「情報」を名称に含む学科の設置時期を示し、①は第1期、②は第2期、③は第3期を意味している。

「情報」を名称に含む学科は47種類の学部設置されていた。所属学部の種類は第1期に12種類、第2期に27種類、第3期に32種類であり、特に第2期および第3期における著しい多様化は所属学部においても見られた。

また、「情報工学科」「経営情報学科」など、同じ名称の学科が異なる学部設置されている場合や、同じ語を使用しているも、語の前後の入れ替えによって設置学部が変化している場合があった。この現象は第3期に多く見られた。語の入れ替えの例としては、第2期における「社会情報学科」の社会情報学部、商学部での設置、第3期における「情報社会学科」の情報学部での設置がある。

IV. 高等教育機関における「情報」の意味とその変遷

以上の調査結果を基に、高等教育機関における「情報」の意味とその変遷を3期に分けてまとめる。

A. 第1期(1968年～1985年)

この期間は1970年に始まった文部省による情報処理教育の推進が行われた期間である。この方針に従い、国立大学に「情報工学」系学科が多く設置されたと考えられる。これは国立大学が設置に関して文部省の意向を強く受ける設置母体であるためと言えよう。II章で見たように、情報処理教育はコンピュータ教育と同義であるから、この期間では「情報」は「コンピュータ」とほぼ同義として捉えられ、既存の学問に「情報(コンピュータ)」を組み込んだ研究や教育がなされていたと考えられる。この例として、経営学において用いられる「情報(株価情報等)」を「コンピュータ」を利用して処理することを中心に、情報処理技術者を養成することを目的とした経営情報学科が挙げられる。

B. 第2期(1986年～1992年)

この期間では、特に国立大学において人工知能やソフトウェアに関する技術者を養成する「知能情報系」学科の設置が始められるなど、「情報」に関する研究・教育内容に変化が生じてきた。

このように、研究・教育内容の移行が行われたほか、私立大学における学科の大幅な増加と共に名称の多様化が始まった。この名称の多様化は、この期間中に行われた文部省による大学入学者臨時定員増、および「情報関係学科」の拡充推進計画の影響から、既存の研究・教育分野とは異なる学部・学科を設置するために、それまで名称に使用されることの少なかった「情報」という新しい語を用いたことから生み出された現象であると考えられる。「情報」は、第2期では確固とした意味と分野性を持たない語として捉えられ、この語の使い方が固定されなかった。このため新学科を設

我が国の高等教育機関における「情報」という語の意味とその変遷

表4 「情報」を名称に含む学科が設置されている学部

番号	学科・課程名	合計	設置学部			
1	情報工学科	54	基礎工学部①	工学部①	鉱山学部②	情報学部②
			電気通信学部②	理工学部②	情報科学部③	情報工学部③
2	経営情報学科	34	経営情報学部①	商学部①	情報学部①	経営学部②
			経済学部②	国際学部③		
3	情報科学科	17	理学部①	理工学部①	情報科学部②	基礎工学部③
			情報学部③			
4	電子情報工学科	16	工学部①	工芸学部②	情報工学部②	
5	情報システム工学科	8	工学部②	情報工学部③		
6	情報通信工学科	6	工学部①	開発工学部②	情報工学部③	
7	情報学科	5	経営情報学部①	工学部③	理工学部③	
8	情報管理学科	5	経営学部①	経済学部②		
9	情報システム学科	5	工学部②	情報学部②	情報科学部③	情報文化学部③
10	電子情報学科	5	電気通信学部①	工学部②	情報学部②	理工学部③
11	経済情報学科	4	経済情報学部②	情報学部②	経済学部③	
12	社会情報学科	4	社会情報学部②	商学部②		
13	知能情報工学課程	4	工学部②	情報工学部②		
14	電気情報工学科	4	工学部①			
15	産業情報学科	3	産業社会学部②	経営情報学部③		
16	情報文化課程	3	教育学部②	人文学部③		
17	知能情報システム工学科	3	工学部②	情報科学部③		
18	視覚情報デザイン学科	2	芸術工学部②			
19	社会情報学科社会環境情報学専攻	2	社会情報学部②			
20	情報科学課程	2	教育学部②			
21	情報教育課程	2	教育学部②			
22	情報社会文化課程	2	教育学部②			
23	情報処理工学科	2	工学部①			
24	情報数理学科	2	情報科学部③	理学部①		
25	情報文化学科	2	経営情報学部③	情報文化学部③		
26	図書館情報学科	2	図書館情報学部①	文学部①		
27	文化情報学科	2	情報学部③	文化情報学部③		
28	医用情報学科	1	医療情報学部②			
29	医療情報工学科	1	医用工学部②			
30	栄養学科環境情報専攻	1	家政学部②			
31	衛生学科生体情報専攻	1	産業保健学部③			
32	応用数理学科情報専攻	1	理学部①			

表 4 続 き

番号	学科・課程名	合計	設置学部			
33	会計・情報学科	1	経営学部②			
34	会計情報学科	1	経済学部③			
35	環境情報学科	1	環境情報学部②			
36	機械情報工学科	1	工学部②			
37	機械情報システム工学科	1	工学部②			
38	教養学科情報科学専攻	1	教養部②			
39	経営環境情報学科	1	経営情報学部②			
40	産業消費情報学科	1	経済学部③			
41	産業情報工学課程	1	経済学部③			
42	自然情報科学科	1	理学部③			
43	自然情報学科	1	情報文化学部③			
44	社会システム情報学科	1	情報文化学部③			
45	社会情報学科経済情報学専攻	1	社会情報学部③			
46	社会情報学科社会情報処理学専攻	1	社会情報学部②			
47	社会情報学科社会生活情報学専攻	1	社会情報学部②			
48	情報デザイン学科	1	デザイン工学部②			
49	情報学科情報基礎数理専攻	1	理工学部②			
50	情報学科知識情報工学専攻	1	理工学部②			
51	情報環境科学課程	1	教育学部②			
52	情報機械システム工学科	1	情報科学部③			
53	情報教育学科	1	教育学部②			
54	情報工学課程	1	工学部①			
55	情報工学類	1	第三学群①			
56	情報社会科学科	1	情報社会科学部③			
57	情報社会課程	1	教育学部②			
58	情報社会学科	1	情報学部③			
59	情報処理学科	1	情報科学部③			
60	情報数理科学科	1	学芸学部③			
61	情報数理工学科	1	電機通信学部①			
62	情報知識工学科	1	工学部②			
63	情報知能工学科	1	工学部②			
64	情報通信システム学科	1	システム工学部③			
65	情報電子工学科	1	工学部③			
66	数学・情報数理学科	1	理学部③			

我が国の高等教育機関における「情報」という語の意味とその変遷

表 4 続 き

番号	学科・課程名	合計	設置学部			
67	数理・自然情報科学科	1	理学部③			
68	数理・情報システム学科	1	総合理工学部③			
69	数理情報システム工学科	1	工学部③			
70	数理情報学科	1	理工学部③			
71	数理情報工学科	1	工学部①			
72	制御情報工学科	1	工学部①			
73	生活環境情報学科	1	家政学部③			
74	生活情報学科	1	生活環境学部③			
75	生産環境情報学科	1	農学部③			
76	総合情報学科	1	総合情報学部③			
77	知識情報学科	1	文化情報学部③			
78	知識情報工学課程	1	工学部②			
79	知能情報システム学科	1	工学部②			
80	知能情報学科	1	理工学部②			
81	デザイン情報学科	1	システム工学部③			
82	電気・情報工学科	1	工学部①			
83	電気電子・情報工学科	1	工学部③			
84	電子・情報科学科	1	理工学部②			
85	電子・情報工学科	1	工学部①			
86	電子システム情報工学科	1	生物理工学部③			
87	電子工学科情報・システム専攻	1	工学部②			
88	電子情報エネルギー工学科	1	工学部③			
89	電子情報システム学科	1	システム工学部②			
90	電子理学科情報・システム専攻	1	理学部①			
91	都市情報学科	1	都市情報学部③			
92	図書館・情報学科	1	文学部①			
93	人間情報学科	1	人文学部③			
94	人間情報工学科	1	工学部③			
95	物理情報工学科	1	理工学部③			
96	放射線・情報科学科	1	保健学部③			
97	輸送情報システム工学課程	1	商船学部②			
98	流通情報学科	1	流通情報学部③			
99	流通情報工学課程	1	商船学部②			
	合 計	272				

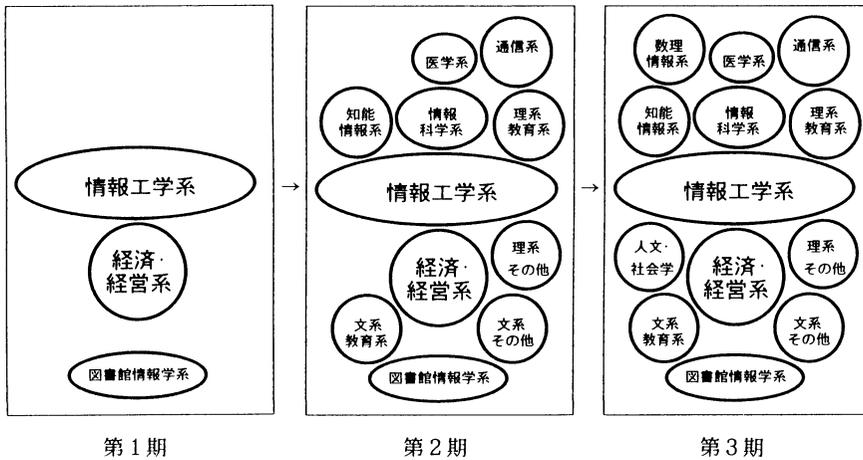


図2 「情報」を名称に含む学科の分布

置するための方策として「情報」という語を多様に用いることが可能であったと考えられる。第2期において「情報」という語は、学科数を増やすために様々な分野の語と組み合わせられ、新しい名称を作り出すという役割を持つことになった。この期は「情報」という語の学科名称における普及期であったと言えよう。

C. 第3期 (1993年～1996年)

この期間においても「情報工学系」中心の設置が行われているが、一方でそれまで少なかった国立大学の文系学科、私立大学の理系学科の設置が大幅に進んでいる。また、学科名称に用いられる語も多様化している。学科名称は学科内で行われている研究・教育内容を表現しているものであると考えられる。したがって、この語の多様化は、研究・教育内容の多様化が起きていることを示すものであると言えよう。

さらに、学科名称中に「情報」と共出現する語は多岐にわたっているが、単独ではどの学問分野にも分類のできない語でも「情報」と結びつくことによって、ある一定の学問領域を示すことができる。これは「システム」という特定分野に分類できない語が「情報システム」という形を取った場合に、「コンピュータに関わる」学問領域を示すようになることから明らかである。

また、同名の学科が異なる学部設置されて

いる場合、語の前後の入れ替えによって設置学部が変化している場合がこの期間では多くなっている。これは「情報」という語の示す領域が広いため、「情報」と他の語を組み合わせることにより学科における研究・教育内容の広がりや示すことができるためであると考えられる。さらに、この第3期においては、文部省が「情報」に関連する学科を設置抑制の対象から除外した結果、学科数が増加しただけでなく、第2期よりも「情報」を名称に含む学科が所属する学部の種類も増加した。これは、文部省が「情報」を扱う学科について数を増やすだけでなく、多分野との関連性や広がりや認め、多くの種類の学科を認可したことの現れであった。このことから、この期間において「情報」という語が学際的な意味を持つ語として捉えられるようになったことを示しているものと考えられる。第3期は「情報」という語の学科名称における固定期であると言えよう。

図2は、我が国の大学が「情報」を扱える範囲を四角で囲み、その中で「情報」を名称に含む学科がどのように分布しているかを表したものである。なお、各学科の範囲の大きさは、概ね現存する学科数に比例しており、研究・教育内容については上半分が「理系」、下半分が「文系」を示している。第1期では「図書館情報学系」学科、「情報工学系」学科および「経営情報学系」学科が設置され、特に「情報工学系」学科が非常に大きな

割合を占めている。その後、第2期では「情報」を名称に含む学科数の急激な増加が見られる。第3期では「情報」を名称に含む学科の所属する学部の種類がこの枠の中で飛躍的に増加した。これは「情報」という語が学際的な意味を持つという捉え方が、他の新しい分野と組み合わせられて「情報」を扱う研究・教育分野を広く細分化する動きを生み出した結果である。

V. 結 論

本研究は、文部省による施策と「情報」を名称に含む学科との関係を基に、我が国の高等教育機関における「情報」の意味とその変遷についての調査および検討を行った。その結果、「情報」という語は、第1期（1968～1985年）における「コンピュータ」というハードウェアと同義という捉え方から始まり、第2期（1986～1992年）における学科数増加のための新名称を作り出すという役割を経て、第3期（1993～1996年）において教育分野全体における学際的な意味を持つ語として捉えられるようになったことが明らかになった。

本研究は、1996年度愛知淑徳大学文学部図書館情報学科の卒業論文¹⁰⁾において収集したデータを使用して行ったものである。研究を進めるにあたり、懇切丁寧なご指導をいただいた愛知淑徳大学図書館情報学科の菅野育子先生に深く感謝の意を表す。

注・引用文献

- 1) 細野公男ほか。“わが国の大学における情報関連研究・教育の多様性：「情報」を冠する学部学科の分析を通じて”。昭和63年度慶應義塾大学学事振興基金による研究：わが国の大学における「情報」に関する研究，教育報告書。東京，慶應義塾大学文学部図書館・情報学科，1989，73p.
- 2) 岸田和明。“大学教育における情報化：学部・学科の名称とカリキュラムの分析”。情報の科学と技術。Vol. 40, No. 1, p. 7-11 (1990)
- 3) 木村 泉。“情報関係専門学科卒業生の貢献度に関する一注意”。情報技術教育班。大学等における情報技術教育の諸問題。平成元年度科学研究費補助金・総合研究(A), p. 39-41 (1990)
- 4) 國分信。“我が国諸大学における「情報」教育(I)：「情報」関係学部・学科の名称の整理と分析”。駿河台大学文化情報学部紀要文化情報学。Vol. 3, No. 2, p. 167-185 (1996)
- 5) 竹内昭夫ほか編。新法律学事典。第3版。東京，有斐閣，1989，1593p.
- 6) 高等教育研究会編。大学の多様な発展を目指して：設置基準の解説とQ & A。東京，ぎょうせい，1992，284p.
- 7) 文部省。文部時報臨教審答申総集編。東京，ぎょうせい，1987，480p.
- 8) 文部省高等教育局大学課監修。平成8年全国大学一覽。東京，文教協会，1996，553p.
- 9) 晶文社出版編集部編。全国大学案内1997年度用。東京，晶文社，1996，1319p.
- 10) 櫻木貴子。“教育機関における情報の意味と役割の変化”。1996年度愛知淑徳大学文学部図書館情報学科卒業論文。1996，60p.